

令和3年度 施策・基本事業マネジメントシート (令和2年度実績に基づく評価)				作成日 令和 3 年 8 月 6 日			
政策体系	基本目標名	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	施策主管課長	文化立市推進課		
	政策名	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり				
	施策名	1	文化芸術活動の推進		上岡 幸宏		
施策関係課							

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	H30	R1	R2	成果指標設定の考え方	文化芸術は、豊かな感性を養うとともに、世代を超えて感動や安らぎを与えてくれるなど、心豊かな社会を形成する上で重要な役割を持っていることから、 ①より一層文化芸術活動の活性化を図る必要があり、そのためには市民自らが参加・活動する機会を充実させることにより達成できると考え、何らかの文化芸術活動を行ったり、鑑賞している人の割合を増加させることを成果指標に設定した。 ②文化芸術活動団体が活発に活動している状態とは、文化祭等への参加している団体数により把握できると考え、成果指標に設定した。 ③文化芸術活動の推進には、活動の拠点となる施設が不可欠であり、施設利用者の満足度が高い状態が望ましいと考え、成果指標に設定した。
	①市民 ②文化芸術活動団体 ③文化芸術施設	①市の人口 ②市内の文化芸術活動団体登録数 ③市内の文化芸術施設数(市立) ④	人 団体 館	119,348 110 3	118,450 106 3	117,706 103 3					
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)	区分	単位	H30	R1	R2	R3	成果指標の取得方法		
	①文化芸術活動が活性化している ②団体が活発に活動している ③施設利用者の満足度が高い	①何らかの文化活動を行うか、美術館等での講演・展示会などに参加・鑑賞している人の割合 ②文化祭等への参加団体数 ③施設利用者の満足度が高い割合 ④ ⑤	目標 実績 目標 実績 目標 実績 目標 実績	% 団体 %	54.7 52.2 97 83 70.0 84.6	55.7 51.2 98 107 70.5 85.7	56.7 39.3 99 27 71.0 84.6	57.7 100 72.0		① 市政に関するアンケート ② 文化立市推進課資料 ③ 各施設利用者からのアンケート ④ ⑤	

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
文化芸術活動の推進	①市民 ②児童生徒 ③天明鋳物	①、②文化芸術に触れ、親しみ、参加・体験する機会を拡充する ③特色ある地域資源の有効活用を図る	①文化会館、あくとプラザ利用者数	目標 実績	人	195,000 202,289	196,000 179,073	197,000 35,847	198,000	文化芸術活動団体との連携・支援	①文化協会 ②郷土芸能保存会連絡協議会	文化芸術・伝統芸能の核となる団体の充実を図る	①文化芸術活動団体登録数	目標 実績	団体	112 110	112 107	114 103	114
			②アウトリーチ事業等を実施した小学校数	目標 実績	校	13 10	13 20	14 5	15				②文化祭等入場者数	目標 実績	人	17,700 14,130	17,700 12,621	17,800 1,143	17,800
			③吉澤記念美術館入場者数	目標 実績	人	8,100 8,127	8,100 3,353	8,200 1,332	8,200				③伝統芸能の発表の場への参加団体数	目標 実績	団体	10 7	10 4	11 0	12
			④天明鋳物フェイスブックアクセス数	目標 実績	件	155,200 51,739	155,500 20,320	155,800 7,838	156,000				①施設利用者の満足度が高い割合	目標 実績	%	70.0 84.6	70.5 85.7	71.0 84.6	72.0
			②	目標 実績									②	目標 実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和2年度施策の取組方針				施策の取組方針・成果指標達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 文化協会や郷土芸能保存会等の活動を支援するとともに、(公財)佐野市民文化振興事業団との連携を強化し、官民を挙げて、文化芸術の振興を図る。 文化芸術活動や伝統芸能の継承者となり得る子どもたちへ、本物の文化芸術に触れる機会として、巡回公演やアウトリーチ事業等を引き続き実施する。 天明鋳物やフレスコ画等の特色ある文化資源を観光資源として活用し、交流人口の拡大を図る。 開館から40年が経過する文化会館のリニューアル工事に向け、PFI手法を視野に入れた調査・検討を進める。 				<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成			
基本事業	文化芸術活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの豊かな心を育むため、プロのアーティストによる小学校訪問を実施し、間近で本物の音楽や演劇等に触れる機会を提供する。 文星芸大及び他の自治体との共催による文化資源を活用したツアーを開催することで、首都圏住民との交流人口・関係人口の拡大等、地域の活性化を図る。 菜蟲譜やフレスコ画等の魅力のある企画展や講座を開催し、芸術に親しむ機会を提供することにより吉澤記念美術館の利用促進及び交流人口の拡大を図る。 	取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・葛生小、常盤小で地元の漆喰を利用したフレスコ画の製作体験を実施した。 ・文星芸大、栃木市、JTBとの連携によるアートツアーは、コース、日程等募集内容を確定したが、新型コロナウイルスの影響により、中止となった。 ・吉澤記念美術館の企画展は、一部会期を短縮し実施したが、講座については新型コロナウイルスの影響により、全て中止となった。 【成果指標達成状況】 ・新型コロナウイルスの影響により、アウトリーチ事業等は、小学校5校のみの実施となった。また、吉澤記念美術館の入場数についても、同様の理由から美術館が休館になるなど、目標を達成することができなかった。	文化芸術施設の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館は、優れた文化芸術を鑑賞できる施設として、また活動や発表の拠点となる施設として、広く市民に利用されているが、各種設備の経年劣化が進んでいるため、リニューアルに向けて、PFIの活用を含めた調査・検討を始める。 吉澤記念美術館は、国の重要文化財である「菜蟲譜」をはじめ貴重な美術作品を収蔵・展示しているが、各種設備の経年劣化が進んでいることから、来館者の安心安全な利用と美術作品の適切な保管のため、施設の適正な維持管理を図る。 	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	
	文化芸術活動団体との連携・支援	<ul style="list-style-type: none"> 文化協会や文化振興事業団等との連携を図り、文化芸術活動を通じて広く市民参加を求め、市民文化のさらなる向上をめざす。 	取組方針 <input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・文化協会や文化振興事業団との連携を図り、各団体の運営が円滑に行えるよう支援した。 【成果指標達成状況】 ・団体の各種事業については、新型コロナウイルスの影響により、中止せざるを得ない状況であり、目標を達成できなかった。			<input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> 2021年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会はスポーツの祭典であると同時に、文化の祭典でもあり、日本の文化の魅力を発信する予定である。栃木県においても、これを契機に文化芸術の更なる振興を図るとともに、文化による地域活性化を図ることとしている。 文化芸術は魅力ある観光資源として注目されており、国内外へ発信するに当たっては、地域の特色ある文化芸術資源の活用を図ることが期待されている。また、文化芸術活動は、経済の活性化につながる側面も有しており、文化芸術が新たな需要を掘り起こし、地域経済を活性化させる効果があるとされている。 新型コロナウイルスの影響で多くの文化活動が中止を余儀なくされているが、日本では海外に比べ文化の担い手への支援が手薄だと言われている。(国) 天明鋳物を活用したまちづくりの要望が出ている。(市議会、市民) 公共施設のトイレ洋式化、バリアフリー化の要望が出ている。(市議会、市民団体) 伊藤若冲「菜蟲譜」を定期的に公開して欲しいとの要望が出ている。(市民) 	市民	事業所	行政
		<ul style="list-style-type: none"> 市民文化の主体は市民自身であり、市民一人ひとりが積極的に文化芸術に触れ、活動することが求められる。 文化芸術団体は、文化祭等を通して文化芸術活動に関わりを持っており、これまでの取組を継続することや、郷土芸能を次の世代へ継承することが期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の一員であることを自覚し、地域の文化芸術活動への支援や民間の持つノウハウを提供するなど、さらなる協力体制が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の鑑賞機会や活動の場を提供する。 文化芸術活動を担う市民(特に次代を担う子どもたち)や団体の育成を図る。 社会情勢の変化に対応しつつ、様々な分野の、市民の文化芸術活動を支援する。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
【文化芸術活動の活性化】 ・何らかの文化活動を行うか、講演・展示会などに参加・鑑賞している人の割合が前年の51.2%から39.3%と大幅に下回る結果となった。理由としては、新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となり、鑑賞や参加の機会がなくなったことや、活動自体を控えたことによるものである。 ・市主催のアウトリーチ事業を2校で実施し、また文化庁の巡回公演等3校で実施するなど、児童の文化芸術に触れる機会の提供を継続した。 ・文化会館、あくとプラザともに、新型コロナウイルスの影響により、利用者数が前年度の2割以下になるなど大きく落ち込む結果となった。 ・吉澤記念美術館は、空調工事のほか、新型コロナウイルスの影響による休館が長くなり、企画展の一部変更や講座の中止等により、入館者が減少した。 【文化芸術団体の活発な活動】 ・団体会員の高齢化のほか、核家族化、地域コミュニティの衰退化等の影響により、会員数が減少していると考えられる。令和2年度はさらに新型コロナウイルスの影響により、団体の活動自体ができず、各種事業が中止となった。今後、積極的な文化活動ができるよう、団体への支援が必要である。 【施設利用者の満足度】 文化会館、あくとプラザの利用者アンケート結果は、満足度が高い数値となっている。よ今後、施設の老朽化が進むため、利用者へ支障が出ないよう、予防改修が必要である。 【コスト】 ・施策全体の決算額は令和元年度は約2億円、令和2年度は約2億2千100万円、約2千100万円の増であった。主な要因としては、あくとプラザの非常用発電機更新及び吉澤記念美術館の空調設備改修に伴う費用である。	【令和3年度で解決する課題】 天明鋳物の「地域団体商標登録」に向けた出願申請 【令和4年度以降にも引き継がれる課題】 ①文化芸術の鑑賞・体験機会の提供 ②文化芸術活動団体との連携・支援 【令和4年度重点課題】 ③特色ある文化資源の有効活用 ④文化芸術施設の適切な維持管理	①大人になっても文化芸術に関心が持てるよう、子どもの頃から本物の文化芸術に触れ、体験できる機会を引き続き提供する。 ②文化芸術活動を行う人々が加入する文化協会や独自に文化事業を実施する文化振興事業団等の民間団体と連携するとともに、新型コロナウイルス感染の予防対策を徹底した上で各種事業を推進し、官民一体で文化芸術の振興を図る。 ③本市の代表的な文化資源である天明鋳物について、商標登録化を目指し、鋳物のまちづくりを進めていく。また吉澤記念美術館では、菜蟲譜や葛生特産の石灰に関連したフレスコ画等、地域の特色ある文化資源を活用して、入館者の増加、文化芸術の振興を図る。 ④文化会館は、令和2年度に実施したPFI導入可能性調査の結果を基に、市の方向性、スケジュール等を作成し、具体的な準備を進めていく。 また、吉澤記念美術館は、平成14年開館から20年目を迎え、ますます設備等の経年劣化が想定されるため、予防改修等早めの対応に努める。